

平成 22 年 5 月 13 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社  
代表者名 代表取締役社長 黒田 直樹  
(コード番号 1605 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 板野 和彦  
電話番号 03-5572-0233

ベネズエラ・ボリバル共和国でのオリノコ重質油開発  
合弁事業契約締結について

当社、三菱商事株式会社およびシェブロンなどで構成するコンソーシアムは、本年2月10日、ベネズエラ・ボリバル共和国オリノコ川流域東部カラボボ鉱区プロジェクト3（ブロックC2 South、C3 NorthおよびC5）の開発権者に指名されました（コンソーシアム参加比率：シェブロン85%、当社および三菱商事㈱12.5%、ベネズエラ企業スエロペトロール2.5%）。同コンソーシアムは、その後、ベネズエラ側との協議を続けてまいりましたが、5月12日にプロジェクトの合弁事業契約に調印しましたので、お知らせいたします。

この事業を実施するために設立される合弁事業会社への参加企業およびその出資比率は、ベネズエラ国営石油会社（PDVSA）の子会社Corporacion Venezolana del Petroleo（CVP）（出資比率：60%）、シェブロン（同：34%）、当社と三菱商事㈱の共同出資会社である日本カラボボ石油株式会社<sup>(注)</sup>の英国法人子会社Japan Carabobo UK Ltd.（出資比率：5%）およびスエロペトロール（同：1%）の4社であり、5月下旬の会社設立が予定されています。

<sup>(注)</sup>日本カラボボ石油㈱は4月22日に設立され、独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）からの出資を受ける予定となっており、同社の出資比率は、当社25.55%、三菱商事25.45%、JOGMEC49%となります。

今後、合弁事業会社は、追加評価井の掘削、三次元地震探鉱作業を実施した後、重質原油の早期生産を開始、その後、改質プラントを建設することによって、日量40万バレルの改質原油・ブレンド原油の生産・販売を目指します。

当社は、1992年から同国東部地域グアリコ州において、天然ガスおよび原油の開発・生産事業をPDVSA との合弁事業として、また、2009年からオリノコ地帯中部において、フニン11鉱区での調査事業をPDVSAおよびJOGMEC、三菱商事㈱と実施しております。今回の合弁事業契約の締結によって、世界的にも大きな埋蔵量を有するオリノコ地帯の開発事業に参入いたしますが、エネルギー供給源の多様化および本邦への安定供給に向けて、今後ともベネズエラでの石油開発プロジェクトの開拓に努めて参ります。

以上

